

2015年度地域文化演習・地域文化調査法・地域調査入門・地域環境演習・地域環境調査法のテーマ・内容・調査地域一覧（2015年3月9日）

地域文化演習（3年選択必修）

教員名	記号	演習テーマ	演習内容等		曜・時限
小田匡保	A	歴史地理・文化地理の論文講読と地域調査	前期は、発表担当を決めて、歴史地理・文化地理を中心とした人文地理学の論文講読を行なう。後期は、9～10月に3泊4日で地域調査を行なう。場所は、栃木県那須烏山市を予定している。テーマは、地場産業・商業・観光などグループで設定する。最終的には調査報告書をまとめる。		水・5
櫻井明久	B	東京の郊外とその変化	受講生の皆さんと相談の上、世田谷や田園都市線沿線などの郊外において、地域とその変化について、あるいはある特定テーマに絞る形で、文献調査と現地調査を含めて実践的な地域調査を試みたい。		月・5

地域文化調査法（3年選択必修）

教員名	記号	調査法テーマ	調査地域	調査期間	調査内容等	曜・時限
佐藤哲夫	C	那覇市内の小地域の地誌	那覇市	夏休中を予定	那覇市内の商店街や住宅地区など、小地域における最近10～15年くらいの変化について調べる。系統地理的には都市計画制度の地区計画や、観光業のなかでもインバウンド観光などに興味のある諸君の参加を期待する。	水・2
須山 聡	D	奄美大島の地域性	鹿児島県奄美大島	6/29～7/4	数人のグループで設定した課題にしたがって現地調査を実施し、報告書を刊行する。前期は課題設定と調査準備、後期は報告書の執筆が中心である。今年度は、奄美大島南部の宇検村を中心とし、カツオ漁業・ハブと人間・集落景観などの調査を予定しているが、受講者の希望を取り入れて設定したい。	水・4
高橋健太郎	E	農山村の暮らしと産業	長野県栄村	6月（4泊5日）	農山村集落の土地利用変化、少子高齢化のなかでの地域振興、伝統的な食文化や手工芸の再評価、都市・農村交流などのテーマで資料収集や調査をして、報告書を作成する。「村落地理学」を未履修の人は今年度にA・Bとも履修のこと。	月・3
土谷敏治	F	公共交通を中心とした都市の交通問題	高知市・熊本市・岡山市のうち1都市	10月中旬の予定	公共交通を中心とした都市政策について、行政・事業者等に聞き取りを行うとともに、施設見学を実施する。授業では、文献講読と調査計画を作成し、調査後調査結果分析とその報告、報告書の作成を行う。	火・5
橋詰直道	G	地方都市の地場産業とまちづくり	竹原市	6月27日～6月30日又は10月3日～6日（3泊4日）	広島県竹原市を事例に地方都市における歴史・地場産業とまちづくりについて学ぶ：歴史的町並みの景観とまちづくり、地場産業と観光、などの班に分けて調査し、報告書としてまとめる。6月末の現地調査の場合、6月までは調査地に関わる文献調査と文献レビュー発表、現地調査期間中は毎夜レポート、終了後まとめレポート提出と発表、その後は調査結果を集約・地図化・分析し報告書用の原稿づくり（5回以上書き直して提出してもらう）。12月報告書完成と班別発表を行う。この他に東京日帰り巡検も行うので、積極的に参加する者に限る。	火・5

地域調査入門（2, 3, 4年選択）両専攻共通

教員名	記号	調査法テーマ	調査地域	調査期間	調査内容等	曜・時限
櫻井明久	A	農村地域の景観とその変化	那須地域	6月初旬（3泊4日程度）	自然環境の違いを地形図で読み取り、現地での景観観察によって農村の条件とその歴史的な発展・変化傾向を考察し、それら農村の中心としての田舎町と地方都市の構造変化を考察する。	前期 火・3
須山 聡	B	大きな離島佐渡島の風土	新潟県佐渡島	11/4～11/7	金山、北前船、トキなど、佐渡を特徴づける地域的要素を観察し、それらが現在の佐渡においてどのように活用されているかを考える。受講者は分担した調査項目について事前に調べ、現地で説明する。授業ではそのためのレジュメ集を作成する。	後期 水・2
平井幸弘	C	火山との共生（恵みと災害）	長崎県島原半島東部	後期授業期間中に2泊3日または3泊4日	長崎県島原半島東部の島原市を中心に、雲仙火山の恵みと災害、復興などに関して、関係機関や博物館を訪ね、さらに地形調査、水文調査、植生調査、景観調査などを実施する。（キーワード：雲仙普賢岳、平成の噴火災害、地域の復興、ジオパーク、ジオサイト、湧水利用ほか）	後期 火・4

地域環境演習（3年選択必修）

教員名	記号	演習テーマ	演習内容等		曜・時限
高木正博	C	流域の水災害、水環境や水利用に関する分野	関心のある調査・研究テーマについて、文献・資料をもとに講読・発表することを義務づける。テーマ、地域によっては現地調査を行い、フィールドワークの手法を経験する。地域は授業内容によるが、甲府盆地の治水、利根川上流域の水資源開発、郡上八幡の親水水路などの1つを予定している。		火・4

地域環境調査法（3年選択必修）

教員名	記号	調査法テーマ	調査地域	調査期間	調査内容等	曜・時限
江口 卓	A	屋久島の気候と環境	鹿児島県屋久島町	10月下旬	前半は、屋久島の広域スケールにおける気候的位置づけおよび島内における気候の地域差をテーマに、データ解析を行う。後半は、その上で、島内における気候の地域差を中心に現地調査を行う。	水・4
鈴木秀和	B	下仁田の自然と観光資源	群馬県下仁田町とその周辺	6月下旬～7月下旬（3泊4日）	荒船風穴周辺の自然環境（水文・気象・地形・地質・植生）、鏑川流域に分布する鉱泉と河川の水質、多様な自然環境を活用したジオツーリズムによる地域振興策などについて調査を行う予定。授業では、文献を講読し、調査テーマを決め、調査計画を立案する。現地調査後は、データを解析して考察を行い、報告書を作成する。	火・3
田中 靖	D	八重山諸島の自然環境	石垣島	10月初旬（3泊4日）	八重山諸島の主に自然に関する調査を行う。全体巡検と班別自主調査実習の二部構成。昨年度の班別調査テーマはサンゴ礁、土地利用、水質、土壌、マングローブ植生、文化財地図、集落史。	水・3
平井幸弘	E	湖沼をめぐる環境問題とワイズユース	滋賀県、おもに琵琶湖の南東岸	夏季休暇初めor後期授業初めの3泊4日or4泊5日	琵琶湖の南東岸の野洲川デルタ～近江八幡市・安土町の西の湖を中心に、湖をめぐる開発や環境問題、自然再生などに関して、地形調査、水文調査、植生調査、景観調査、またしかるべき機関、団体、個人を対象に聞き取り調査や質問票調査を実施する。（キーワード：ラムサール条約、内湖の保全と再生、ヨシ原のワイズユース、重要文化景観、水郷ほか）	水・4

\*演習と調査法、地域調査入門と演習または調査法を履修することも可能です。希望人数によっては調整することもあります。